

平成 22 年度 上半期

水道事業業務状況書

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 22 年 9 月 30 日

江 津 市 水 道 課

# 水道事業業務状況書

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項の規定により、江津市水道事業に関する平成22年度上半期の業務の状況を次のとおり公表します。

## 1. 事業の概況

### (1) 業務に関する事項

前年同期と比べた当期の給水状況は、以下のとおりである。

平均給水戸数は、市全体で54戸（0.5%）減の9,881戸だった。

給水量については、一般用、営業用、工場用とも微増し、全体で1,158m<sup>3</sup>（0.1%）増加した。

#### 業務量

事 項	平成22年度 年間予定 A	当期実績 B	予定との 対比 B/A	前年同期 実績 C	前年同期実績との対比	
					増減 B-C	増減率%
平均給水戸数（戸）	9,950	9,881	99.3%	9,935	△ 54	△ 0.5
総給水量（m <sup>3</sup> ）	2,080,500	1,042,852	50.1%	1,041,694	1,158	0.1
一日平均 給水量（m <sup>3</sup> ）	5,700	5,737	100.6%	5,731	6	0.1

### (2) 工事等に関する事項

当期において発注した主な工事は以下のとおりである。（金額は契約額）

飯田西・恵良地区（1,2工区）配水管布設工事	33,390,000 円
市道浅利黒松線（倉谷橋）配水管支障移転工事	2,770,950 円
東部地区（波積北2,3工区）配水管布設工事	51,366,000 円
和木地区石綿管布設替工事	73,185,000 円
恵良地区給水管取出工事	3,885,000 円
恵良地区配水管布設工事	3,570,000 円
御幸通線配水管支障移転工事	2,982,000 円
飯田配水池・加圧ポンプ場築造工事	52,710,000 円
波積北配水池・加圧ポンプ場築造工事	50,347,500 円
和木地区消火栓設置替工事	1,522,500 円

## 2. 経理の状況

### (1) 収益的収支予算及び資本的収支予算の執行状況

#### ①当期間中の収益的収入の状況

(単位：千円)

区分	平成22年度			前年同期 執行額	前年同期比較	
	9月補正後の予算額	当期執行額	予算対比 %		増減額	増減率 %
営業収益	451,827	225,909	50.0	226,574	△ 665	△ 0.3
うち給水収益	450,405	225,412	50.0	226,191	△ 779	△ 0.3
簡易水道 営業収益	81,937	42,599	52.0	41,515	1,084	2.6
うち給水収益	81,359	42,560	52.3	41,451	1,109	2.7
営業外収益	46,283	4,616	10.0	7,868	△ 3,252	△ 41.3
特別利益	0	0	—	7	△ 7	皆減
計	580,047	273,124	47.1	275,964	△ 2,840	△ 1.0

#### ②当期間中の収益的支出の状況

(単位：千円)

区分	平成22年度			前年同期 執行額	前年同期比較	
	9月補正後の予算額	当期執行額	予算対比 %		増減額	増減率 %
営業費用	374,055	164,538	44.0	183,821	△ 19,283	△ 10.5
うち受水費	198,728	84,471	42.5	110,713	△ 26,242	△ 23.7
簡易水道 営業費用	87,411	37,017	42.3	38,534	△ 1,517	△ 3.9
うち受水費	36,681	15,626	42.6	19,928	△ 4,302	△ 21.6
営業外費用	40,592	20,014	49.3	20,373	△ 359	△ 1.8
簡易水道 営業外費用	13,425	6,425	47.9	7,442	△ 1,017	△ 13.7
特別損失	1	0	0.0	0	0	—
予備費	3,000	0	0.0	0	0	—
計	518,484	227,994	44.0	250,170	△ 22,176	△ 8.9

#### ③当期間中の資本的収入の状況

(単位：千円)

区分	平成22年度			前年同期 執行額	前年同期比較	
	9月補正後の予算額	当期執行額	予算対比 %		増減額	増減率 %
他会計負担金 工事負担金	78,633	4,281	5.4	0	4,281	皆増
国庫補助金	101,795	0	0.0	0	0	—
他会計補助金	28,570	0	0.0	0	0	—
企業債	176,200	0	0.0	0	0	—
他会計出資金	42,900	0	0.0	0	0	—
固定資産 売却代金	100	100	100.0	0	100	皆増
計	428,198	4,381	1.0	0	4,381	皆増

#### ④当期間中の資本的支出の状況

(単位：千円)

区分	平成22年度			前年同期 執行額	前年同期比較	
	9月補正後の予算額	当期執行額	予算対比 %		増減額	増減率 %
建設改良費	452,830	13,019	2.9	13,482	△ 463	△ 3.4
企業債償還金	91,408	42,818	46.8	54,626	△ 11,808	△ 21.6
計	544,238	55,837	10.3	68,108	△ 12,271	△ 18.0

## (2) 貸借対照表の概要 (平成22年9月30日)

(単位:千円)

勘定科目	当期末残高	前期末残高	当期増減額	前年同期末残高	前年同期末比較		
					増減額	増減率%	
資産	固定資産	5,879,907	5,917,086	△ 37,179	5,656,122	223,785	4.0
	流動資産	410,007	518,399	△ 108,392	417,973	△ 7,966	△ 1.9
	資産計	6,289,914	6,435,485	△ 145,571	6,074,095	215,819	3.6
負債	固定負債	12,423	12,423	0	11,545	878	7.6
	流動負債	14,063	158,893	△ 144,830	13,922	141	1.0
	負債計	26,486	171,316	△ 144,830	25,467	1,019	4.0
資本	資本金	3,139,657	3,181,374	△ 41,717	3,054,959	84,698	2.8
	剰余金	3,123,771	3,082,795	40,976	2,993,669	130,102	4.3
	資本計	6,263,428	6,264,169	△ 741	6,048,628	214,800	3.6
負債・資本合計	6,289,914	6,435,485	△ 145,571	6,074,095	215,819	3.6	

## (3) 損益計算書の概要 (平成22年4月1日~平成22年9月30日)

(単位:千円)

勘定科目	当期末残高	前年同期末残高	前年同期比較	
			増減額	増減率 %
営業収益	215,174	215,803	△ 629	△ 0.3
簡易水道営業収益	40,572	39,541	1,031	2.6
小計	255,746	255,344	402	0.2
営業費用	159,837	178,015	△ 18,178	△ 10.2
簡易水道営業費用	36,088	37,432	△ 1,344	△ 3.6
小計	195,925	215,447	△ 19,522	△ 9.1
営業損益	59,821	39,897	19,924	49.9
営業外収益	4,412	7,543	△ 3,131	△ 41.5
営業外費用	20,014	20,373	△ 359	△ 1.8
簡易水道営業外費用	6,424	7,442	△ 1,018	△ 13.7
小計	26,438	27,815	△ 1,377	△ 5.0
経常損益	37,795	19,625	18,170	92.6
特別利益	0	7	△ 7	皆減
特別損失	0	0	0	—
当期純損益	37,795	19,632	18,163	92.5

### 3. 平成21年度決算の状況

#### (1) 事業及び経営状況の概況

##### ① 財務活動

平成19年度より始まった「公的資金補償金免除繰上償還」制度の最終年度として、利率5%以上の既借入地方公営企業債について約9,376万円を繰上償還し、定期償還とあわせて約1億9,201万円の償還を行った。この制度による平成19年度以降3ヵ年の繰上償還額合計は約2億5,430万円(うち、低利での借換額1億9,330万円)となり、今後の支払利息の負担軽減が図られることとなった。

一方、今年度の建設改良事業の財源として約2億140万円、繰上償還の借換債として3,800万円の借入を行い、年度末未償還残高が約4,739万円増加することとなった。

##### ② 主な投資的活動

平成19年度に着手した「生活基盤近代化事業」(松平地区)が今年度で完了し、3ヵ年の事業全体により、安全で安定した給水の確保と一部未普及地域(上河戸地区)の解消を図った。

平成20年度より開始した「水道未普及地域解消事業」として、昨年度に引き続き飯田西・恵良地区、新規事業地区として波積北地区及び跡市・長瀬地区において、調査・測量・設計業務及び配水管布設工事を実施し、新たに長瀬地区で給水が開始された。

有収率(年間総給水量/年間総配水量)の向上及び管路の耐震化を図るため、従来に引き続いて「管路近代化推進事業」として嘉久志、和木地区の石綿セメント管布設替工事(延長約600m)及び漏水調査を行った。当年度の有収率は、83.88%で、対前年度比0.13ポイント上昇した。しかしながら、近年、老朽化した塩化ビニル管の漏水が増加しており、計画的な管路の更新が必要である。

##### ③ 営業活動等

今年度生活基盤近代化事業(松平地区)の完了したことに伴い、島根県企業局の経営する江の川水道用水供給事業から浄水の全量を受水することとなった。

今年度の一日平均実受水量約6,861 $\text{m}^3$ /日は、島根県企業局との契約水量17,500 $\text{m}^3$ /日に対して約39.2%、一日最大配水量7,887 $\text{m}^3$ /日でも約45.1%に留まっている一方で、経常費用のうち受水費の占める割合が52%を超え、江津市水道事業にとって大きな負担となっている。このことから、平成15年度より江の川水道料金平準化措置を講じていただき、平成21年度までの受水費負担の軽減を図ることができた。また、平成22年度以降の受水単価の決定方法のあり方について、島根県企業局、受水団体である本市及び大田市により「水道事業に関する総合的検討会」を平成20年度に立ち上げ、平成20年度中に3回、今年度4回にわたって開催・協議した。その結果、平成22年度より受水単価が引き下げられることとなった。

業務改善については、出納及び収納取扱金融機関との間で支払及び収納に関するデータを専用回線を用いて受け渡しする「ファームバンキング」を導入した。これにより、データを運搬する労力を省くと同時に、重要な個人情報の紛失・流失のリスクを回避することができるようになった。

経営成績については、純利益が約2,199万円、経常収支比率が103.95%であったが、財務活動、投資的活動、営業活動等を通じた資金収支は約8,107万円のマイナスとなった。

水道未普及解消事業の施行等により、水道普及率は対前年度比で0.18ポイント上昇したが、市内人口の減少等が要因となり年度末給水人口が対前年度比1.42%減少、給水収益も対前年度比2.22%減少し、依然として江津市水道事業を取り巻く環境は厳しい。更に、経営の効率化や経費の節減を図り、安定給水及び市民福祉の向上のため経営の健全化に努める必要がある。

#### 業 務 量

事 項	平成21年度	平成20年度	前年度の対比		
			増減	増減率%	
年度末行政区域内人口(人)	23,347	23,730	△ 383	△ 1.6	
計画給水人口(人)	22,540	22,540	0	0.0	
年度末給水戸数(戸)	9,313	9,352	△ 39	△ 0.4	
年度末給水人口(人)	21,606	21,917	△ 311	△ 1.4	
普及率(%)	92.54	92.36	0.18	—	
配水量	年間( $\text{m}^3$ )	2,469,838	2,540,582	△ 70,744	△ 2.8
	一日平均( $\text{m}^3$ )	6,767	6,960	△ 193	△ 2.8
給水量	年間( $\text{m}^3$ )	2,071,661	2,127,670	△ 56,009	△ 2.6
	一日平均( $\text{m}^3$ )	5,676	5,829	△ 153	△ 2.6
一日最大配水量( $\text{m}^3$ )	7,887	7,795	92	1.2	
有収率(%)	83.88	83.75	0.13	—	

(2) 収益の収支及び資本的収支の決算概要

①収益の収入

(単位：円)

区 分	平成21年度	平成20年度	比 較	
			増 減	増減率%
営 業 収 益	450,984,741	461,312,124	△ 10,327,383	△ 2.2
簡易水道営業収益	81,548,008	83,667,631	△ 2,119,623	△ 2.5
営 業 外 収 益	71,960,922	64,605,833	7,355,089	11.4
特 別 利 益	0	0	0	—
計	604,493,671	609,585,588	△ 5,091,917	△ 0.8

②収益の支出

(単位：円)

区 分	平成21年度	平成20年度	比 較	
			増 減	増減率%
営 業 費 用	425,169,448	435,694,123	△ 10,524,675	△ 2.4
簡易水道営業費用	90,765,750	102,291,845	△ 11,526,095	△ 11.3
営 業 外 費 用	42,295,418	42,778,506	△ 483,088	△ 1.1
簡易水道営業外費用	14,852,608	15,741,628	△ 889,020	△ 5.6
特 別 損 失	0	0	0	—
計	573,083,224	596,506,102	△ 23,422,878	△ 3.9

③資本的収入

(単位：円)

区 分	平成21年度	平成20年度	比 較	
			増 減	増減率%
他 会 計 負 担 金 工 事 負 担 金	31,218,015	44,260,037	△ 13,042,022	△ 29.5
国 庫 補 助 金	79,579,000	84,076,000	△ 4,497,000	△ 5.3
他 会 計 補 助 金	28,707,000	21,666,000	7,041,000	32.5
企 業 債	239,400,000	232,700,000	6,700,000	2.9
他 会 計 出 資 金	24,200,000	28,000,000	△ 3,800,000	△ 13.6
計	403,104,015	410,702,037	△ 7,598,022	△ 1.9

④資本的支出

(単位：円)

区 分	平成21年度	平成20年度	比 較	
			増 減	増減率%
建 設 改 良 費	395,828,277	372,647,572	23,180,705	6.2
企 業 債 償 還 金	192,011,140	156,289,105	35,722,035	22.9
他 会 計 借 入 金 償 還 金	0	49,724,000	△ 49,724,000	皆減
他 会 計 補 助 金 返 還 金	3,154,000	0	3,154,000	皆増
計	590,993,417	578,660,677	12,332,740	2.1

(3) 貸借対照表及び損益計算書の概要

① 貸借対照表

(単位：千円)

勘定科目	平成21年度末 残高	平成20年度末 残高	前年度末残高との対比		
			増減額	増減率 %	
資産	固定資産	5,917,086	5,689,388	227,698	4.0
	流動資産	518,399	598,162	△ 79,763	△ 13.3
	資産計	6,435,485	6,287,550	147,935	2.4
負債	固定負債	12,423	12,446	△ 23	△ 0.2
	流動負債	158,893	191,481	△ 32,588	△ 17.0
	負債計	171,316	203,927	△ 32,611	△ 16.0
資本	資本金	3,181,374	3,109,586	71,788	2.3
	剰余金	3,082,795	2,974,037	108,758	3.7
	資本計	6,264,169	6,083,623	180,546	3.0
負債・資本合計		6,435,485	6,287,550	147,935	2.4

② 損益計算書

(単位：千円)

勘定科目	平成21年度末 残高	平成20年度末 残高	前年度末残高との対比	
			増減額	増減率 %
営業収益	429,563	439,394	△ 9,831	△ 2.2
簡易水道営業収益	77,674	79,706	△ 2,032	△ 2.5
小計	507,237	519,100	△ 11,863	△ 2.3
営業費用	411,200	421,257	△ 10,057	△ 2.4
簡易水道営業費用	88,104	99,810	△ 11,706	△ 11.7
小計	499,304	521,067	△ 21,763	△ 4.2
営業損益	7,933	△ 1,967	9,900	—
営業外収益	71,181	64,169	7,012	10.9
営業外費用	42,275	44,379	△ 2,104	△ 4.7
簡易水道営業外費用	14,850	15,742	△ 892	△ 5.7
小計	57,125	60,121	△ 2,996	△ 5.0
経常損益	21,989	2,081	19,908	956.7
特別利益	0	0	0	—
特別損失	0	0	0	—
当期純損益	21,989	2,081	19,908	956.7
前年度繰越利益剰余金	113,469	111,588	1,881	1.7
当年度末処分利益剰余金	135,458	113,669	21,789	19.2